

大人気
3事業所を巡る!
現地視察

参入拡大中の障がい福祉事業で
勝ち抜くため、成功モデル法人を
見学したい経営者の皆様へ

開催日 **2022年**
11/16(水)・12/2(金)

開催時間:13:00~16:30(受付開始:12:30)

障がい福祉サービス成功事例 現地視察 セミナー

ワンストップ(子供から大人まで)

成功モデルのポイントがわかる

当日視察先

こども発達支援センターwill 児発・放デイ
開所17年!大阪市の委託事業も実施

LaLa-chocolat TAKATSUKI 就労継続支援B型
大人気スイーツ事業“実”工賃20,000円!

ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ-
自立訓練・就労一般就労率90%

■このような方におススメのセミナーです!

- ☑ 事業の柱としてワンストップで展開したい
- ☑ より効果的な展開方法を知りたい
- ☑ 成功法人の秘訣を知りたい
- ☑ 成功モデルが分からず今一步踏み出せない
- ☑ 事業シナジーを成功法人から学びたい
- ☑ 職員の給与・待遇を上げ離職を防ぎたい
- ☑ 優秀な若手人材を確保し事業を拡大したい

ゲスト講師のご紹介

社会福祉法人
北摂杉の子会
障がい福祉事業
19億円達成



理事長
松上 利男氏



就労支援部 部長
星明 聡志氏



児童発達支援部 部長
新谷 沙弥香氏

スマホ・タブレットの方は
右記のQRコードを読み
込んでいただきWebページ
にある申し込みフォームより
お申し込みいただけます。



障がい福祉サービス成功事例 現地視察セミナー

お問合せNo: S091457

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、録画等によるWeb開催へ移行させていただく可能性がありますので、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。また、来場にてご参加される際は、ご案内時に注意点がございますので必ずご確認ください。

主催

明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken

船井総研
セミナー事務局

E-mail

seminar271@funaisoken.co.jp

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル ※お問合せの際は「セミナータイトル・お問合せNO・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください

Webからお申し込みいただけます。

船井総研ホームページ www.funaisoken.co.jp (右上検索窓に右記の「お問合せNo」をご入力ください)

091457 Q

はじめに

この度、障がい福祉サービスワンストップ(子供から大人まで)実現のために、『障がい福祉サービス成功事例 現地視察セミナー』のご案内をお送りさせていただきました。

皆様も日本の人口減少とは裏腹に、障がい者の総数が年々増え続けていることをご存じかと存じます。障がい者比率は日本の人口比率の7.6%を超え、もはや障がい福祉サービスは障がい者人口964万人の日本にとって必要不可欠な事業となりました。

そのため、皆様と同様に拡大マーケットである障がい福祉事業に新規参入する法人は年々増加をしています。

ただ、事業運営の中で、単体の事業に苦戦している法人も多く見受けられ、発展させるためにワンストップ化をしていきたいが、思い描いたような事業展開ができていないというのが現状です。その理由の多くは、どのように展開すべきかがわからない…。成功できるのかイメージつかない…。そういったお声です。

このまま少数事業で運営を続けると、制度改定が売上にマイナスに働いた際に、更に多大な痛手を受ける可能性もあり、そこは何としても回避しておきたい。1つの事業で痛手が起こっても他で補う準備をしておきたい。これは障がい福祉事業を営まれる皆様にとって共通の課題であり、私ども船井総合研究所にはそういったご相談が多く寄せられています。ではどうすれば良いのでしょうか？

その一つの答えがここにあります。

ビジネスに唯一無二の正解はないことは皆様もご承知の通りではありますが、まずは成功モデルを直接その目で見て体感すること、その要因を理解することで、自法人の運営の参考にしてみてください。

今回は大阪府高槻市で地域に根付いた展開をしている、社会福祉法人 北摂杉の子会をゲストにお招きし、『障がい福祉サービス成功事例 現地視察セミナー』と題しまして、障がい福祉事業ワンストップ(子供から大人まで)の成功事例を余すことなくお伝えいただきます。

受講後翌日より取り組んでいただける内容が満載のセミナーでございます。現在のビジネスは情報が財産であり、成功の重要な要素はスピードです。2024年制度改定は確実に来ます。その前に是非、本現地視察セミナーにて貴法人の成長軌道を描いてください。そのために安定かつ成長運営を描いている法人を真似び(学び)、自法人の体制や型、地域に合った方法で展開することを目指していただく足掛かりにしていただければ幸甚です。

このレポートが貴法人の近未来を変える可能性が高いと考えております。
是非、このまま読み進めてくださるようお願いいたします。

セミナーの見どころ・ゲスト法人紹介

1. 現地視察セミナー参加のメリット・見どころ

- ① **ワンストップ(子供から大人まで)サービス成功法人がわかる!**
- ② **17年続く人気の児発・放デイの現場が見れる!**
※2012年制度変更での体制変更期間含む
- ③ **スイーツ事業生産活動の就労B型の活動・実店舗見れる!**
- ④ **一般就労率90%の訓練・移行・定着の成功事例が見れる!**
- ⑤ **事業展開ポイント・仕組み・タイミングをコンサルタントが解説!**

2. 社会福祉法人 北摂杉の子会とは



大阪府高槻市を中心に障害福祉事業展開しているのが、社会福祉法人 北摂杉の子会。障がい福祉事業の設立は1993年。知的障がい者をもつ大阪府高槻市、茨木市の親たちが、施設づくりをめざして「杉の子会」を結成したことに始まる。

北摂杉の子会は、知的障害や発達障害があっても一人の人間、市民として、生まれ育った地域の中で、家族や多くの友人、隣人あるいは地域の人たちとともに普通の生活が送れるような優しさのある社会を作っていくために活動している。

現在の提供サービスは多岐にわたる。ひとえに障がいをお持ちの方の支援は単サービスで終わることなく、生活が続いていく限り必要であることの表れである

船井総合研究所からみた『社会福祉法人 北摂杉の子会』の凄み

幼児期→学齢期→青年期→老齢期手前における支援により、64歳にわたるまで、**切れ目のないサービス、まさに“ワンストップ(子供から大人まで)”の展開を実現している。**

多様な事業所・サービス種別展開にて、**各事業間のシナジー、人材の育成など先進的な取り組み多数の実績**を残されている。

全国的にも**支援の質**で名をはせた法人であり、**政府、関連機関からのプロジェクトの依頼多数**。専門性の高いサービスにて**質・量ともに、全国TOPクラスの障がい福祉法人**である。

3. 社会福祉法人 北摂杉の子会沿革

年月	項目
1993年12月	知的障害者をもつ高槻、茨木地区の親たちが、施設づくりを目指して「杉の子会」を結成。
1996年3月	「社会福祉法人 北摂杉の子会設立準備会」と改称し、設立準備のための具体的活動を開始。
1998年2月	社会福祉法人としての認可を受け、「社会福祉法人 北摂杉の子会」設立。
1999年4月	知的障害者入所更生施設「萩の杜」開設。
5月	外で働く場所として「茨木作業所」開設。(茨木市園田町)
6月	外で働く場所として「氷室作業所」開設。(高槻市氷室3丁目)※後に「工房あぶの」と改称。
7月	安全食品センター(株)(亀岡市)で企業実習開始。
10月	短期入所事業「ショートステイセンター ぶれす」開始。
2000年4月	大阪府からの委託を受けて、知的障がい者生活支援事業「生活支援センター あんだんて」開始。
2001年4月	萩の杜の分場「工房ひむろ南」開設。「茨木作業所」閉鎖。
2002年4月	NPO法人大阪自閉症支援センターと合併。当法人の公益事業として新たなスタート。
4月	萩の杜の分場「工房ひむろ北」開設。「工房あぶの」閉鎖。
4月	知的障害者地域生活援助事業「グループホームとんだ」開設。
6月	府からの委託を受け、大阪府自閉症・発達障がい支援センター「アクトおおさか」開設。後に、「大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか」と改称。
2003年4月	府からの委託を受け、「アクトおおさか」内で自閉症児療育強化事業開始。
2004年4月	大阪自閉症支援センターにおける療育支援サービスを「児童デイサービスセンターan」として開設。
2005年4月	萩の杜分場「工房ひむろ南」と「工房ひむろ北」を統合し、「工房ひむろ南」を知的障害者通所授産施設「ジョブサイトひむろ」として整備、開設。
4月	知的障害者地域生活援助事業「グループホームみやた」開設。
4月	府からの委託を受け、自閉症発達障がい療育等支援事業として「自閉症療育センターwill」開設。(現在は自立支援法にもとづく事業として運営)
2006年4月	大阪市淀川区に、自閉症者への就労支援を目的とした通所授産施設「ジョブサイトよど」を開設。
5月	府からの委託を受け、地域移行支援センター「だ・かーぼ」開設。(2007年度までの時限事業)
2007年5月	ジョブサイトよどが、新事業体系(就労移行支援・生活介護)に移行。
10月	高槻市城北町に法人本部事務所を開設。
11月	ジョブサイトひむろが、新事業体系(就労移行支援・生活介護)に移行。
2008年3月	萩の杜が、新事業体系(施設入所支援・生活支援)に移行。
5月	府からの委託を受け、「自閉症療育センターLink」を枚方市内に開設。
8月	府からの委託を受け、「大阪府発達障がい者日中活動・就労準備支援モデル事業所」を開設。
2009年4月	高槻地域生活総合支援センターぶれいすBe開設。
4月	高槻障害者地域移行支援センター「だ・かーぼ」は委託終了後も法人独自の事業として継続。
4月	萩の杜の生活介護および萩の杜ショートステイセンター「ぶれす」運営の場として、萩の杜日中活動支援センター「ふれっと」開設。
2011年4月	ジョブジョイントおおさかを大阪市淀川区に開設。
2012年4月	共同生活介護事業「レジデンスなさはら」開設。
4月	生活支援センター「あんだんて」が、市町村／指定特定相談支援事業(計画相談支援・基本相談支援)・指定一般相談支援(地域相談支援・基本相談支援)に移行。それに伴い、高槻障害者地域移行支援センター「だ・かーぼ」を「あんだんて」の指定一般相談支援事業に統合。
4月	障害児関連事業の改定再編により「児童デイサービスセンターan」「自閉症療育センターLink」「自閉症療育センターwill」は新事業体系(児童発達支援・放課後等デイサービス)に移行。これと併せて「自閉症療育センターwill」は市町村／指定特定相談支援事業(計画相談支援・基本相談支援)・指定障害児相談支援事業(障害児相談支援)を受託。
4月	高槻市からの委託を受け「こども相談支援センターwish」を「自閉症療育センターwill」内に開設。
2013年4月	「大阪自閉症支援センター」を廃止。「研修相談支援室・PASSO」開設。
8月	「ジョブジョイントおおさかーたかつきランチー」開設。
2015年4月	「サポートセンターPASSO」、「こども発達支援センター az」開設。
10月	法人自主製品店舗「LaLa-chocolat(ララ・ショコラ)/TAKATSUKI」オープン
2016年4月	「研修相談支援室」を「人材育成研修室」に拡充。
8月	「ジェイ・ランチよど」開設。
2018年9月	「グループホームみやた」移転。「レジデンスなさはら2丁目」開設。
2019年4月	「レジデンスなさはらもともち」、「すぎのご訪問看護ステーション」開設。豊中市からの委託を受け「発達支援あゆみ(豊中市児童発達支援事業所あゆみ)」開設。
2020年9月	「レジデンスよど三津屋北ホーム」開設。

どのような事業展開か？

4. ワンストップ(子供から大人まで)とはどのような事業展開なのか？

児童発達支援

- ・こども発達支援センターwill
- ・自閉症療育センターLink
- ・児童デイサービスセンターan
- ・豊中市児童発達支援事業所
(発達支援あゆみ・個別療育カラフル・一時預かりりーふ)

放課後等デイサービス

- ・こども発達支援センターwill
- ・自閉症療育センターLink
- ・児童デイサービスセンターan

自立訓練(生活訓練)

- ・ジョブジョイントおおさか
- ・ジョブジョイントおおさか
-たかつきランチ-

就労継続支援B型

- ・高槻地域生活総合支援センター ふれいすBe
- ・ジェイ・ランチよど
- ・LaLa-chocolat TAKATSUKI

就労移行支援

- ・ジョブジョイントおおさか
- ・ジョブジョイントおおさか
-たかつきランチ-

就労定着支援

- ・ジョブジョイントおおさか
- ・ジョブジョイントおおさか
-たかつきランチ-

生活介護

- ・知的障害者生活施設 萩の杜
- ・ジョブサイトひむろ
- ・ジョブサイトよど
- ・ふれいすBe

共同生活援助

- ・レジデンスなさはら
- ・グループホームとんだ
- ・グループホームみやた

短期入所

- ・萩の杜ショートステイセンター
ふれす
- ・ふれいすBe・ショートステイ

日中一時支援

- ・萩の杜ショートステイセンター
ふれす
- ・ふれいすBe・ショートステイ

発達障害者支援センター

- ・大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

特定相談・一般相談支援

- ・生活支援センターあんだんて
- ・こども相談支援センターwish

訪問看護

- ・すぎのこ訪問看護ステーション

施設入所支援

- ・知的障害者生活施設 萩の杜

法人独自公益事業

- ・研修相談支援室

5. 現地視察見学事業所一覧

それぞれに強みを持ったこの3事業所を、少人数で視察見学いたします。

1

児童発達支援・放課後等デイサービス
こども発達支援センターwill



2

就労継続支援B型
LaLa-chocolat TAKATSUKI



3

自立訓練・就労移行・就労定着
ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ-



見学① 児童・学齢期の成長

6. 現地視察事業所紹介 ①

児童発達支援
放課後等デイ
サービス

17年続く未就学児からの支援を行う人気の見発・放デイ！

こども発達支援センターwill

近隣自治体・関連機関からも信頼が厚く、プロジェクトの依頼が来るほどの療育環境を見学できる！



こども発達支援センターwillは、開設17年。長きにわたり地域におけるワンストップ(子供から大人まで)のスタート地点として、療育を行なっています。

willが大切にしているものは、**子どもの強みに注目した、「わかる」「できる」「うまくできた」**の環境を調整・設定することで**自己肯定感を育むこと**。パッケージ化されている療育だけではなく、**子ども自身を中心とした支援を**考えています。**初回に発達検査(PEP3)を行い**、子どもの現状を把握した上で療育をスタート。療育時間は一人1時間。子ども一人ひとりの発達段階や特性に合わせた**個別のプログラムを、個別支援計画に基づき実施**しています。



さらに、willの支援は、子どもだけにとどまりません。保護者に向けても、**子どもと同伴でご来所いただき、お子さまへの正しい理解や強みを生かした日常生活の支援**を提案しています。保護者向けの研修は、なんと年10回開催。

子どもの自立を目指し、将来の姿を見通しながら**今必要なスキルと、将来必要なスキルの双方の視点を持ちアプローチ**しています。家庭との連携により、子どもの成長は育まれます。

個別専門療育の専門的なノウハウを生かし、**大阪府より、圏域内の児童発達支援事業所や放課後等デイサービスへの機関支援の事業委託**を受けています。

また、専門性を生かした事業展開により、近隣市町村より講師派遣依頼やコンサル依頼を受け、**地域において無くてはならない事業所として存在**しています。

市町村により定員数は異なりますが定員は60名(児童発達支援:30名・放課後等デイサービス30名)。市町村の委託上、単年度療育を基本としており、契約者も単年度ごとに集客することも特徴です。



見学② 働く場所の創出

7. 現地視察事業所紹介 ②

就労継続 支援B型

人気のスイーツ！魅力的な職場で、生産活動収入を確保！

LaLa-chocolat TAKATSUKI

専門店の人気の秘密、支援員、利用者の生産活動と長期雇用の秘訣を見学できる！



LaLa-chocolat TAKATSUKIは、就労継続支援B型事業所です。その生産活動は、多くの事業所で軽作業中心。さまざまな生産活動も出てきますが、その中でLaLa-chocolat TAKATSUKIでは、**人気のスイーツ製造と販売を主の生産活動**として実施。

利用者は、障がい区分、利用区分など人によって状況はさまざま。利用者年代も20代50%、30代20%、40代20%、区分の程度にもより、当然得意な作業・苦手な作業が出てきます。そのため、LaLa-chocolat TAKATSUKIでは、**2つのチームに分けて生産活動を実施**しています。

① 厨房作業チーム

計量、生地のはし、型抜き、袋詰め、シーラー、ラッピングなど

② 受託作業チーム

清掃、ポスティング、軽作業、クリーニング仕分けなど



他にも事業所として、LaLa-chocolat TAKATSUKIは次の2点をとっても大切にしています。

1点目は、利用者・支援員にとって**働きやすい職場づくり**をすること。就労継続支援B型は働く場と訓練をする場。定着し、継続して**生産活動と訓練を続ける**ことは良い支援や成長へとつながります。

2点目は、**地域に愛される店作り**です。利用者に支払われる工賃は売上から。正しい会計方法で、十分な利益を確保しています。そのためには**障がい者が働いているお店としての立ち位置ではなく、専門店として、プライドを持って運営**されています。



見学③ 一般就労に向かって

8. 現地視察事業所紹介 ③

自立訓練
就労移行支援
就労定着支援

生活を整え、就職体制を身に着け、長期一般雇用を実現！

ジョブジョイントおおさか —たかつきブランチ—

就労移行率90% 一般就労数150名以上！200種類以上の教材と現場を見学できる！



ジョブジョイントおおさか—たかつきブランチ—の過去3年の一般就労率90%以上(全国平均54.7%)、1年後就労定着率も88%(全国平均71.5%)※2020年出展:厚生労働省と全国トップクラスの実績を誇る多機能事業所です。

障がい者の一般就労を目指す就労移行支援を基軸として、地域に根差した支援と展開。利用者のインテーク・職業アセスメントは厚生労働省のハンドブックに取り入れられるほど。正確な支援のスタート地点を探し、適切な成長を実現するために、自立訓練(生活訓練)2年、就労移行支援2年間の多機能型、更にコースも5つに設定。

- ①個別コース【自立訓練(生活訓練)】
- ②スモールステップコース【自立訓練(生活訓練)】
- ③チャレンジコース【自立訓練(生活訓練)】
- ④作業コース【就労移行支援】
- ⑤オフィスワークコース【就労移行支援】

その中で利用するワークサンプル(トレーニングキット)はオリジナルで200種類以上。高確率で効果を出し、更に利用者の能力や多様なニーズにも対応しています。

ただ、利用者に合わせるだけではこれだけの成果は実現できません。

ジョブジョイントおおさかでは営業担当職員が就業先の確保、利用終了(一般就労を実現した)者との定期的な交流会も開催。過去の利用者が先輩として未来の就労者へのアドバイスもできる体制が確立されています。

事業所として入り口から出口までの効果的な支援が確立されているからこそ、高い実績を実現できているのです。



次) ワンストップ実現法人の例

9. ワンストップ(子供から大人まで)サービス展開法人例

未就学～就学～就労まで切れ目のない支援をワンストップ(子供から大人まで)で展開し、保護者、教育機関、行政関係機関から絶大な信頼を獲得できる地域一番法人に！

■A法人 様

人口18万人の地方都市

2年で5事業展開

売上規模 3億円

2014年 2月 就労A・B
2016年 10月 船井総合研究所とのコンサルティング契約
2017年 3月 小学生向け運動学習特化型放課後デイ
2018年 4月 中高生向け就労準備特化型放課後デイ
2018年 6月 小学生向け運動学習特化型放課後デイ
2018年 11月 音楽療育特化型児童発達支援・放課後デイ
2018年 12月 グループホーム
今後の予定
障がい児通所商圏内で可能な限りチェーン展開
中重度の障がい児の事業へチャレンジ

■B法人 様

人口10万人の地方都市

創業5年で17事業展開

売上規模 6億円

2014年 5月 就労継続と就労Bの多機能
2015年 5月 就労A
2016年 4月 就労B
2017年 5月 船井総合研究所とのコンサルティング契約
2017年 5月 就労準備型放課後デイ・運動特化型児童発達多機能
2017年 9月 グループホーム
2018年 2月 指定特定相談支援事業
2018年 4月 就労B指定管理
2018年 4月 就労支援センター委託
2018年 4月 障がい者等相談支援センター委託
市内保育園への障がい児等保育実践指導業務委託
2018年 9月 児童発達・放課後等デイ多機能
2019年 4月 音楽療育特化型児童発達支援センター
放課後等デイ
今後の予定
相談支援事業、グループホーム、生活介護等の複合施設

皆様からいただいた船井総合研究所へのお声

C法人

今後に向けた展開を考えていたので、良いアイデアをいただけるかなと思い連絡しました。実際にお付き合いが始まると、期待通り多くの情報を幅広くいただきました。特に、今後課題になると感じていた組織化について情報を得られたことで、自分の中で方向性が見つめてきたと感じています。障害福祉サービスは、県の特色や、県ごとの違いがあります。セミナーを通じ、日本全国の方が集まり、県を超えた情報を把握できて、とても参考になります。これが“4年で6事業所を展開し、来年度4月からはさらに3事業が増える。”といった私たちの取り組みに寄与しました。多くのことを参考にさせていただいているので、業績的にも反映されていると思います。

D法人

15の事業を運営しています。当時、私が頭を悩ませていたのは社員の離職、中でも20代の7割が3年以内に辞めてしまうことでした。人が定着する会社にするには何をしたらいいのか？私は以前から船井幸雄さんの本を愛読していたこともあり、船井総合研究所に相談してみようと思い立ちました。幸い船井総合研究所には障がい福祉サービスを専門とするコンサルタントの方がおり、相談にのっていただきました。アドバイスいただいたのは、まず社員に企業理念を浸透させる場をつくること、業務を効率化して残業を減らすこと、若手を指導する管理者にも教育を行なうこと。私がこれからやるべきことが明確になりました。

次) 現地視察セミナーご案内

10. 現地視察セミナーのご案内

船井総合研究所 現地視察セミナー受講3つのポイント ご参加申し込みいただいた後のフォローはコチラ！



フォロー① 見学前ご案内



ただ参加するのではなく、弊社のコンサルタントが事前にご連絡させていただきます。
貴社に合った視察のポイントを事前にお伝えし、その上でご参加いただけるよう、できる限りサポートさせていただきます！
セミナー内容に関してのご要望についても、この時にお伺いさせていただきます！

フォロー② 当日説明・解説



普段見ることのできない成功法人の事例、現地で事業所を余すことなく細部までご覧ください。
児童の療育の様子から就労支援で障がい者が働く様子まで、普段見ることができない事業の細部がご覧いただけます！

現場見学に加えて、ゲスト講師による事業や展開のポイントを解説いただきます。また、船井総合研究所のコンサルタントからもこれからの時流や、視察先の運営のポイントを体系化し、各地域でできるモデルにてお伝えいたします。1日で事業展開のポイントがわかるセミナーです！

フォロー③ 見学後フォロー



当日に質問しづらかった疑問点などに対して、セミナー終了後に無料の個別経営相談を実施いたします。

セミナー時には聞きにくかったことのご質問や、今後の事業展開に向けた具体的なアドバイスも、その場でお答えさせていただきます！

個別経営相談も当日であれば対面、お時間が難しい方は後日Web形式でも実施いたします。

※通常多くの皆様にお申込みいただくため、別日になることもございます。
お早めにお申し込み下さい。

皆様の法人に合った、
地域の状況にあった内容としてご参加いただけます。

セミナー講演内容・講師

11. セミナー講演内容・講師

	講師	内容
第一講座	株式会社船井総合研究所 福祉チーム チーフコンサルタント 溝部 昌寛	障がい福祉サービスの時流・視察のポイント
第二講座	社会福祉法人北摂杉の子会 理事長:松上 利男氏	成功事例講座 ①講演 ②現場視察&解説 ※事業所間を徒歩移動いたします。各5-10分程度 児童発達支援・放課後等デイサービス こども発達支援センターwill 就労継続支援B型 LaLa-chocolat TAKATSUKI 自立訓練(生活訓練)・就労移行支援・就労定着支援 ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- ③質疑応答
第三講座	社会福祉法人北摂杉の子会 就労支援部長 星明 聡志氏 児童発達支援部長 新谷 沙弥香氏	
第四講座	株式会社船井総合研究所 福祉チーム チーフコンサルタント 溝部 昌寛	
第五講座	株式会社船井総合研究所 福祉チーム リーダー 中谷 文哉	本日のまとめ
経営相談	※事前にご予約いただいた方を対象に経営相談の場を設けます。	



社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長 松上 利男氏

一般社団法人大阪知的障害者福祉協会会長、近畿地区知的障害者施設協会政策委員等の要職に就き、指導的な立場から活動している。また、国の研究事業においては「強度行動障害支援初任者養成研修プログラム及びテキストの開発」に携わり、「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」においては、虐待防止に対する組織的な取り組み強化など虐待防止の体制づくりを行なう。

- 日本知的障害者福祉協会評議員(2016年～)
- 大阪知的障害者福祉協会会長(2016年～)
- 一般社団法人全日本自閉症支援者協会会長(2016年6月～)
- 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会評議員(2017年4月～)
- 大阪府障がい者施策推進協議会委員(2016年11月～)
- 大阪府社会福祉協議会運営適正化委員(2016年11月～)
- 大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会委員(2017年4月～)
- 日本障害者虐待防止学会学会員(2017年12月～)



社会福祉法人 北摂杉の子会
就労支援部 部長 星明 聡志氏

北摂杉の子会入社後は青年期の就労に従事。ジョブジョイントおおさか所長。日本職業リハビリテーション学会 運営理事 ミルマガジン コラムニストなど、障がいの者の就労に向け、精力的に活動を行なう。



社会福祉法人 北摂杉の子会
児童発達支援部 部長 新谷 沙弥香氏

北摂杉の子会入社後は児童の療育に従事。平成24年から所属のこども発達支援センターwillが府の委託を受け「発達障がい児療育拠点」として三島圏域内の児発/放デイ/教育へのコンサルにも従事。

スケジュール・申込方法

12. 開催日程とお申し込み方法

開催概要

※全日程とも内容は同じです。ご都合のよい日程をお選びください。

2022年 **11月16日(水)** 2022年 **12月2日(金)**

お申込期限**11月12日(土)**

お申込期限**11月28日(月)**

各回開始 終了

13:00 - 16:30

※各回定員30名

お早めにお申し込み下さい。

■受付開始

12:30-

■集合場所

クロスパル高槻

(高槻市総合市民交流センター)

■住所

569-0804

大阪府高槻市紺屋町1番2号

■アクセス

JR高槻駅 徒歩2分

阪急高槻市駅 徒歩7分

■現地解散

日時
会場

※諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はメールにてご確認ください。

また最小催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

一般価格 税抜 **40,000円** (税込**44,000円**) / 1名様

会員価格 税抜 **32,000円** (税込**35,200円**) / 1名様

受講料

●お支払いが、クレジットの場合はお申し込み手続き完了後の案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4日前までにお振込みできない場合は、事前にご連絡ください。尚、ご入金を確認できない場合は、お申し込みを取消させていただく場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催3日前まではマイページよりキャンセルをお願いいたします。それ以降は下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。●会員価格は各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申し込みにも適用となります。

お申込み
方法

下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。受講票はWeb上でご確認ください。
または、船井総研ホームページ(www.funaisoken.co.jp)、右上検索窓にお問い合わせNo. 091457 を入力、検索ください。

お問合せ

株式会社船井総合研究所
船井総研セミナー事務局 E-mail:seminar271@funaisoken.co.jp
【TEL】0120-964-000(平日9:30~17:30)

申込に関するお問い合わせ:横田(ヨコタ)
内容に関するお問い合わせ:溝部(ミゾベ)

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

お申込みは、下記のQRコードよりお願いいたします。Webからもセミナー情報をご確認いただけます。

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/091457>

2022年11月16日(水)

お申込期限**11月12日(土)**

2022年12月 2日(金)

お申込期限**11月28日(月)**



最旬の事例が満載！
障がい福祉業界専門メールマガジン

無料メールマガジン 購読者募集！

▼下記 QR コードよりご登録ください！▼

「今日からできる」事例満載で業績アップを実現！

障がい福祉経営の“成功事例”をレポートするメルマガ

船井総合研究所の福祉グループが、日々のコンサルティング現場における成功事例や、業界情報を配信いたします。直近で取り組むべき情報や最新ビジネスモデル、成功事例を多数配信中です。最短・最速・ローコストで業績アップを目指す障がい福祉事業をご検討されている経営者の皆様には、必読のメールマガジンです。

このような方におススメです！

- 障がい福祉サービスの時流を知りたい。
- 新しいビジネスモデルを知りたい。
- これから障がい福祉サービスに参入したいと考えている。

ぜひご登録ください。登録・購買は**“無料”**です。



障がい福祉サービス経営研究会
Facebook ページ



Funai Soken

お問い合わせ：保育教育福祉支援部 福祉グループ

TEL080-6203-5570 溝部（受付：平日 9:45-17:30）